

# 閉会挨拶

農林水産省 大臣官房参事官 **大友 哲也 氏**

本日は長時間にわたりまして、生物多様性連携シンポジウムに参加していただき大変ありがとうございました。

今回の出席者名簿を見ますと、産学官、本当に幅広い人たちにたくさん来ていただき、SDGsの威力は結構あるなと思いました。農林水産省で仕事をしておりますと、TPPやEPA等の大きな課題が目の前にあり、農林水産省全体ではどうしてもそちらに目がいってしまうという傾向があります。よく考えてみると、食料生産、環境問題、森林管理等、実はSDGsで示されていることはもう既にずっとやり続けていることがほとんどだろうと思っています。

ただ、われわれとして問題を感じているのは、生物多様性という切り口でやりたいという気持はあるのですが、ふわっとしている分野でございます。たとえば、気候変動だと2度だとか、1.5度だとか、具体的な政策を打ち出しやすいところがあるのですが、生物多様性は政策として打ちにくい面がございます。

そういう中で、農林水産省はさまざまな政策を進めていますが、今後は、消費者や企業等の協力、バックアップ、パートナーシップを得ながら、農業、林業、水産業を進展させていくことを模索していく必要があると思います。そのひとつのキーワードが生物多様性であり、SDGsであると私どもは考えてます。こういう分野にぜひ新しい風が吹いてきて、もう農林水産省の支援なんか要らないよ、いろんな市民や企業と一緒にやればわれわれだけで十分に発展できるのだという、そういう世界をつかっていきたい。今日の熱い議論を聞いて私も改めて思ったところでございます。

「エコ農業とちぎ」というのがありましたけれども、マイ行動宣言というのを農林水産省もやっています。自分もこういうことをやりたいというものをぜひ宣言していただき、チェックしていただいて、今後、それを心に活動していただきたいと思えます。

本日は司会をミスみどりの女神さんをお願いいたしました。本当にありがとうございました。これからもいろいろとご活躍されると思いますが、今後ともわれわれの味方としてよろしくをお願いいたします。

今日はどうもありがとうございました。